

# 政務活動報告

8月5日～6日

創和会(鎗光秀孝・松江雅輝・船辺 修)、新風天草(古賀源一郎・濱洲大心)、田中 茂、中尾友二、若山敬介

## 大阪府池田市 小中一貫教育の取り組みについて

### 視察報告

池田市、豊中市、箕面市他、3市2町での広域連携型の教育委員会であり、教員の採用試験等も広域連合で行っていました。「教育のまち池田」として市内全域、5地区の中学校単位区域で小中一貫教育を行っておられました。

教育の基本としては、義務教育9年間において、前期(1年～4年)「学びの土台となる力を育てます。」中期(5年～7年)「知識・技能を活用する力を育てます。」後期(8年～9年)「自己学習力を育てます。」という指導区分にてカリキュラムを組まれていました。

### 視察を終えて

天草市においても今後、小中一貫教育の計画がなされているが、現場の教職員の方々、地域保護者の方々の理解を得るために十分な計画、説明会が必要になってくる。また、小中一貫教育の計画



がなされていない地域の児童、生徒の学習面での差が生じないように対策も考えねばならない。この研修を今後の小中一貫教育の取り組みにおいて活かしてまいります。

## 大阪府大阪市 議員セミナー「議員が提案する政策条例のポイント」 講師：牧瀬 稔(法政大学講師)

### 視察報告

地方議会においては、議員提案の政策条例が非常に少なく、いかにして議会側から政策条例を提案するのか研修を受けました。

自治体議会に求められるものとは、「住民の福祉の増進」にあるとのこと、すなわち住民の幸福感を増進させることが、重要な役割とのことでありました。条例の提案には、類似条例を制定した自治体はないか、法令上どのような規制がなさ

れているか等について調査する必要があるとのことでした。

### 視察を終えて

議会としても、市民の皆さんからの意見等を参考にして、「住民の幸福感」の増進を考え、現場に足を運び、フットワークを活かし問題に対しあらゆる角度から検証し、議員提案の政策条例の制定を活発に行う必要性を再確認しました。

# 議会改革

## 12月定例会から タブレット端末を導入

本会議などで配布している議案書や参考資料などをデータ化することにより、ペーパーレス化と事務の効率化を図るため、タブレット端末を導入します。  
議員は、12月定例会からタブレットを議場や委員会室へ持ち込み、使用します。

### タブレットの活用方法や 導入効果

- 本会議、委員会などで配布されている議案書や参考資料などをクラウドに保存し、タブレット端末で閲覧します。
- タブレット端末を一括して操作(親機と子機を連携「同期」)することで、会議の円滑・迅速化が図られます。
- メールを活用することで、会議の通知、緊急・重要情報などをタイムリーに送信することが可能になります。
- 会議日程などのスケジュールの共有を図ります。
- 膨大な資料の中から、検索機能が

で必要な資料を安易に探せ、また、資料の保管スペースが不要になります。

### 年間維持費用

タブレットを導入し会議で運用するに当たり、クラウド使用料、通信費が必要となります。

### 削減効果

議会や委員会では、1年間に約40万枚にもおよぶ資料を印刷して製本しますが、その資料の印刷などの費用、約315万円が削減される見込みです。

### これから

9月定例会において、タブレット端末の活用範囲などを新たに会議規則に規定しました。今後は、執行部においても導入予定でありますので、さらに会議や事務の効率化が期待されます。

そのような中、タブレット端末を常に携行して、市民の皆さまに対し、資料を見せながら説明を行うなど、導入の効果をどのように還元していくかが重要です。

※1：資料を紙に印刷して配布するのをやめてシステム上でファイル操作や画面表示で代替しようとする試み。

※2：コンピュータ製品の一つで、タブレット(板型で、液晶の画面に指先をあてながら操作できる。小さくて軽いため、片手で持ちながら利用できる)。

※3：データを自分のパソコンや携帯端末などではなく、インターネット上に保存する使い方のこと。



▲導入するタブレット端末のイメージ写真

## 予算決算常任委員会の 設置を旨とす

### 予算決算審査における 現状の問題点

「予算」は、その予算を所管する常任委員会に分割付託してしまっている。一方、予算執行の結果である「決算」については、正副議長及び監査委員を除く全議員が、一般会計決算特別委員会と特別・企業会

計決算特別委員会のいずれかに所属して審査しているため、予算と決算を審査する議員が異なり、予算を審査した常任委員会は、その後の決算を審査することなく、次の予算を審査している状況です。そのため、決算審査で明らかにした課題を予算に反映できず、また、予算審査で要望した事項が決算で反映されているか確認できない状況となっていました。

### 設置目的

この現状を解決するため、予算と決算を総合的に一体的に審査・調査する「予算決算常任委員会(議長を除くすべての議員で構成)」を設置することにより、予算を審査した全議員が決算を審査し、決算審査の結果を、次の予算に反映することが可能となります。

### 設置に向けて

今後、委員会条例の改正を行い、予算決算常任委員会における審査は、平成28年第1回定例会から行う予定です。そのため、10月5日～6日に行った決算審査は、全議員で行うなど設置に向けた取り組みを始めています。

## 平成27年12月定例会 会期日程(案)

日	会議	議事日程
1日(火)	本会議	開会、提案理由の説明
4日(金)	本会議	質疑
8日(火)	休会	市民生活委員会 建設経済委員会
9日(水)	休会	総務政策委員会 教育厚生委員会
14日(月)	本会議	一般質問
15日(火)	本会議	一般質問
16日(水)	本会議	一般質問
18日(金)	本会議	委員長報告・討論・採決、閉会

傍聴をお待ちしております!!